

いようにして、みんなの努力でしっかりした学級づくりを深める機会にしたい。

第四に上手な土産物を買うことを心掛けてほしい。お小遣いはある制限があるが、その中でどんなものを選んで買うかいろいろ工夫がほしい。ご両親や弟妹の好みなどを考え、そこでの名産、特産物というようなもの選べば、ほんとうによろこんでいただける。それはお金の問題でなく心持ちの問題である。

今年の三年生は補教などについて見ても、大変真面目で、おとなしい。あなた方には進学ということが頭にいつもあるが、修学旅行中はそれを離れて、修学旅行に全力でぶつかっていきこう。

3日間の旅行が終って、「楽しかったなあ。」「生徒はしっかりやったなあ。」という感想を生徒も、先生も持てることを期待し、また今年の三年生は必ずそうあってくれると信じている。



1 修学旅行の目的

待ちに待った修学旅行。一生忘れられない思い出となるだけな経験です。それだけに、単なる遊びに終わらないようしっかりした目的をもって、有意義に過ごしてきたいものです。

1. 日本古来の文化遺産を現地学習により一層具体化し、今後の学習の基礎と幅広い教養を養う。
2. 団体行動を通し、生活のきまり、公德心の涵養、健康安全の習慣を身につける。
3. 事前学習からはじまる修学旅行行事を通じ、責任と協力の精神を養う。また教師と生徒・生徒相互の人間関係を育て、楽しい思い出をつくり、今後の教育に役立てる。

2 目的地

目的地	京都・奈良
期 日	昭和51年6月3日(木)～6月5日(土)
旅 館	ホテル千代鈴 京都市中京区東洞院三条下ル TEL (075) 241-4136